

第105回日耳鼻千葉県地方部会 学術講演会ハイブリッド(対面・オンライン) 開催のお知らせ

下記の如く地方部会学術講演会を開催します。今回はハイブリッド(対面・オンライン)開催となりますので、添付の注意事項をお読みいただき、奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。なお、一部の委員会は現地開催となりますが、後ほどメールにて出欠のお問い合わせをいたします。

**【注意】 事前参加申込が必須です。
申込時、対面かオンラインかの選択ができます。**

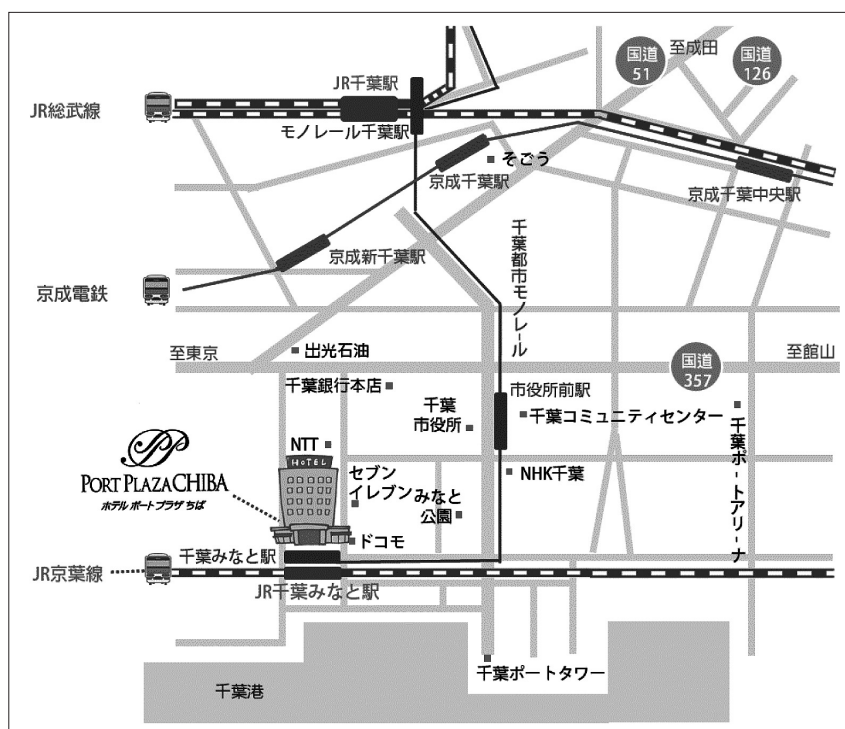
日 時 令和7年1月19日(日)
11:15~17:00

講演および ホテルポートプラザちば2F 「ルビー」

配信会場 千葉市中央区千葉港8-5

TEL. 043-247-7211

JR京葉線 千葉みなと駅 徒歩1分



日耳鼻千葉県地方部会
共催 千葉県耳鼻咽喉科医会

学術講演会プログラム

開 会 11:15

開会の挨拶 11:15~11:18

花澤部会長

第Ⅰ群 11:18~12:06

牛尾宗貴 (東邦大学医療センター佐倉病院)

1. 感音難聴とメニエール病におけるワイドバンドティンパノメトリー
○矢部響樹、大久保彩子、海野豪志、池田ひとみ、越智浩太郎、黒崎元良、田中稔丈、高波太郎、太田康、牛尾宗貴 (東邦大学医療センター佐倉病院)
2. 内耳障害をきたした結核性中耳炎の2例
○松葉義大、望月綾乃、枝川久美子、河田佐和子、高橋直樹 (君津中央病院)
3. 聴力検査における不適条件について (その4)
○吉田泰行 (栗山中央病院・船橋二和病院ふれあいクリニック)
4. 口腔・咽喉頭の単純ヘルペスウイルス感染症58例の臨床像
○大塚雄一郎、久満美奈子、石田ちひろ、吉川直子、嶋田耿子 (千葉市立海浜病院)

第Ⅱ群 12:06~12:54

座長: 本庄 需 (柏厚生総合病院)

5. 鼻性頭蓋内合併症と鑑別を要したFisher症候群の1例
○池田浩輔、武山雄貴、磯山恭子 (松戸市立総合医療センター)
6. 小児睡眠時呼吸障害におけるOSA-18の有用性の検討
○関能彩圭、外池百合恵、有本友季子、仲野敦子 (千葉県こども病院)
7. 内視鏡下甲状腺手術 —市中病院での導入の実際—
○湯澤日南子、白石健悟、松島可奈、根本俊光 (成田赤十字病院)
8. バセドウ病手術における術中迅速PTH測定の有用性
○濱田知至、堀内菜都子、杉本晃 (千葉市立青葉病院)

— コーヒーブレイク (12:54~13:04) —

第Ⅲ群 13:04~13:52

座長: 米倉修二 (千葉大学医学部附属病院)

9. 診断に難渋した喉頭蓋木村氏病の1例
○角恵理子、肥後隆三郎、伊藤伸、久保怜子 (順天堂大学医学部附属浦安病院)
10. 陳旧性輪状披裂軟骨前方脱臼に対して喉頭形成術を行った1例
○門園修、三枝英人、前田恭世、小林伸枝、伊藤裕之
(東京女子医科大学八千代医療センター)
11. 医原性食道穿孔に対して手術および縦隔ドレーン留置を行い良好な経過を得た一症例
○稲生綺与子、麻植章弘、関口昌孝、由井亮輔 (旭中央病院)

12. 嚥下障害を契機に判明した一次性食道運動障害症例

○竹内成夫（聖隷佐倉市民病院）、牛尾宗貴（東邦大学医療センター佐倉病院）

第IV群 13：52～14：40

座長：今西順久（国際医療福祉成田病院）

13. 安全で適切な待機的気管切開術を実施するための当科の取り組み

○栗田惇也、鈴木猛司、新井智之、中川拓也、米田理葉、富永一真、平野美聡、
福井淳平、松崎拓哉、樋渡俊介、花澤豊行（千葉大学医学部附属病院）

14. 良性耳下腺腫瘍に対する被膜外摘出術のとりくみ

○久満美奈子、吉川直子、石田ちひろ、大塚雄一郎、嶋田耿子（千葉市立海浜病院）

15. 頭頸部癌TPF療法におけるGrade 4 および発熱性好中球減少症の発症予測因子の検討

○小池隆史、武田宜高、野尻尚、山田まり恵、渡部佳弘、我那覇章、岡野光博、
野口佳裕、今西順久（国際医療福祉大学成田病院）

16. 腫瘍免疫におけるインターフェロン γ の重要性

○川瀬勝隆1) 2)、川島秀介1) 3)、長崎讓慈1) 4)、猪爪隆史1) 3) 5)、河津正人1)、
花澤豊行2)、冨樫庸介1) 4)

1) 千葉県がんセンター研究所 細胞治療開発研究部

2) 千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

3) 千葉大学大学院医学研究院 皮膚科学

4) 岡山大学学術研究医歯学域 腫瘍微小環境学分野

5) 山梨大学医学部 皮膚科学

●花粉症ゼロ作戦について 14：40～14：50

演者：米倉修二（千葉大学 准教授）

－ コーヒーブレイク（14：50～15：00） －

1. 教育講演（15：00～16：00） 座長：花澤豊行（千葉大学医学部附属病院）

演題名：「RWDからひもとく頭頸部癌治療の現状」

演者：川北大介先生（名古屋市立大学大学院医学研究科 准教授）

2. 特別講演 耳鼻咽喉科領域講習（16：00～17：00）

座長：花澤豊行（千葉大学医学部附属病院）

演題名：「持続性知覚性姿勢誘発めまい（PPPD）の病態と治療」

演者：堀井新先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授）

（共催：MSD製薬株式会社）

※ 医師会生涯教育認定講座単位申請中

【各種委員会】

産業・環境保健委員会（現地参加）	9：00～10：00	3階	「ポートルーム」
保険医療委員会（現地参加）	10：00～11：00	3階	「ポートルーム」
乳幼児医療委員会（現地参加）	9：00～10：00	3階	「りんどう」
学校保健委員会（現地参加）	10：00～11：00	3階	「りんどう」

《演者の先生方へのご案内》

- ◎一般演題の口演時間は7分、討論時間は5分です。今回は、動画及び音声の使用は可能です。
- ◎会場から配信用のパソコンをもちいてZoomの共有画面により配信します。
ご発表用のパワーポイントファイルをUSBに保存して持参してください。
動画及び音声使用の方は、ご自身のPCをお持ち下さい。
- ◎講演抄録（演題名、演者、共同演者名を入れて300字以内）を事前にご提出ください。
- ◎演者の先生方はご自身の利益相反の開示をお願いいたします。
詳しくは日本耳鼻咽喉科学会HPの利益相反委員会の指針・細則をご参照ください。
- ◎参加費は5,000円です。非会員の方で演者あるいは共同演者（抄録に名前を掲載希望する方）の方は別途、当日会員登録費（4,000円）が必要となります。初期研修医の方は無料です。

《質疑応答の方法のご案内》

- 1) 学会当日、オンラインでの参加者はマイクとビデオは使用できず、質問はQ&Aに文章で入力していただく形式をとります。マイクとビデオをもちいて質疑応答をされたい方は予めそのように設定させていただきますので、令和6年12月20日までに事務局までメールにてお申し込みください。地方部会でよく質問や発言をされる方は、パネリストとして登録される事をお勧めいたします。
- 2) 予めパネリストとして登録されている方は、機器をミュートに設定して視聴してください。質問をする場合には、座長の指名がありましたらミュートを解除して質問してください。
- 3) パネリストでない方は、Q & Aに文章を入力して質問してください。質問の数によっては、すべての質問を取り上げる事ができない場合があることを、ご了承ください。
令和7年1月10日（予定）に差し上げる予定のZoomからの参加リンクご案内のメールや、その後のリマインダーメールなどに最新の説明へのリンクをご案内させていただく予定です。
- 4) 演者と座長には会場のマイクをもちいて質疑応答をしていただき、映像を配信します。

日耳鼻千葉県地方部会事務局（担当：武なほし）

Tel&Fax：043 - 226 - 2081

E-Mail：jibi-chihokai@chiba-ori.jp

《事前参加申込について》

今回は、事前参加申込のみとなっております。参加申込期間は令和6年12月6日から令和7年1月6日の1か月間です。これを過ぎますと参加申込できませんのでご注意ください。
日耳鼻千葉県地方部会ホームページに掲載の参加申込リンクから行ってください。
参加費は5,000円で、クレジットカード決済のみとなっております。